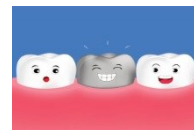




歯の詰め物イマドキ いろいろ図鑑

みなさんのお口のなかに「詰め物」はありますか？「初めての歯科治療が歯の詰め物だった」というかたも多いのではないのでしょうか。詰め物の大切さを知っていただくために、まず現在おもにどんな材料が使われているかを説明し、歯を長期的に守っていくためのアドバイスをお伝えできればと思っています。

～イマドキの歯の詰め物どんなのがある？～



1. コンポジットレジン (小さな詰め物に向くハイテク材料)

★メリット

- ・歯を削る量が最小限で済む。
- ・詰めたところが目立たない。
- ・その日のうちに詰め物が入る。

☆デメリット

- ・時間が経つと着色や変色しやすい。
- ・咬耗しやすく強度が足りないことも。
- ・大きな詰め物には向かない。

2. 金銀パラジウム (保険の金属として有名)

★メリット

- ・硬く、強い噛む力にも耐久性がある。
- ・適用範囲が広く、さまざまなケースで使える。

☆デメリット

- ・見た目が目立つ
- ・詰め物を外れにくくするために歯を削る必要がある。

3. セラミック (審美性ならコレ！)

★メリット

- ・歯に近い色と透明感があり、割れにくい。
- ・汚れが付きにくく、変色しにくい。

☆デメリット

- ・偏った力がかからないようにときどき噛み合わせのチェックが必要。
- ・詰め物を外れにくくするために歯を削る必要がある。

4. CAD/CAM(キャドキャム) (3D光学カメラでスキャンした情報をコンピュータで再現し、加工装置でセラミックブロックを削り出す。)

★メリット

- ・アレルギーの心配がない。
- ・詰めたところが目立たない。

☆デメリット

- ・割れやすい。
- ・接着が難しい。

詰め物に使われる歯科材料は、
日進月歩で進化中。
一方、時代を経ても、変わらず
高い評価を得て使われて続け
ている材料もあります。

～詰め物、傷んでいませんか？～

傷んだ詰め物を放っておくと思わぬトラブルの火種に！！



Caution 1 →わりとよく詰め物が取れる！？

夜中に歯ぎしりをしたり、日中に噛みしめたりしていませんか？噛む力の強いかたは、詰め物の周りの歯質が傷みやすく、詰め物が取れやすいのです。就寝中に、アウスガードを使うなど対策を相談しましょう。

Caution 2 →詰め物の下にむし歯ができた！？

詰め物と歯のあいだに段差ができてプラークがたまったり、詰め物の周りの歯が傷んで隙間ができ、むし歯が入り込んだのかもしれない。ほかの詰め物の下も大丈夫か歯科医院でチェックしてもらいましょう。

Caution 3 →詰め物が取れて反対側で食べている！？

歯科医院に行かずに反対側で食べていると、偏った力が片方の歯に集中してかかるため、今度は反対側の歯の詰め物が取れたり痛んだりして、トラブルが拡大することがあります。放置は禁物です！

☆☆「詰めたら終わり」じゃありません。治療後も定期的に歯科医院で経過観察を受けましょう☆☆